

令和8年度 福井市長橋小学校スクールプラン

《福井市学校教育目標》

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成
《学校教育方針》
学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切に
学校づくり～

学校教育目標



「地域を愛し未来を切り拓く
子どもの育成」

《校訓》

宏大・剛健・優美

《児童の実態》

- ・のびのびと明るく素直である
- ・課題に対し真面目に取り組む
- ・詳しく話すのが苦手
- ・教師に対する依存心が強い
- ・競い合う経験が少ない

《教師の願い》

- ・思いやりがある心の優しい子
- ・主体的・協働的に学ぶ子
- ・地域を愛する子

たかすっ子育ての3か条

- ・助け合い いつでも声を掛け合います
- ・感謝の心で「ありがとう」を言います
- ・すすんで地域の行事に参加します

《保護者の願い》 子どもの課題

- ・すすんで挨拶ができる子
- ・将来の夢や目標を語る子
- ・「わが家のスマートルール」を守る子
- ・読書ができる子

めざす児童像

- 思いやりを持ち、他者を認め合う子
- 目標をもって主体的に学ぶ子
- 地域に誇りをもつ子

【日々の教育活動の土台となる理念】

「好奇心や探究心を大切に」 自分で考えてみよう。そして仲間と考えを出しあおう。
自分や仲間の考えを出し合いながら答えを見つけよう。

【居場所づくり・絆づくり】

◎自己有用感を獲得できる主体的協働的な活動の工夫

- いじめ・不登校の未然防止
 - 自ら学ぶ意欲を高める授業実践
 - 安心して居られる環境づくり
 - 互いに心の結びつきを実感できる場づくり
 - 自己有用感の醸成
- 家庭・地域・学校の連携
 - 地域との結びつきを感じとれる多様な学習機会の提供
- 総合的な学習の時間の充実
 - 主体的・対話的に学び、探究する課題の工夫と実践
- 特別活動の充実
 - 学級活動・委員会活動等、児童の主体的な活動の推進
 - チャレンジする力の醸成

【分かる授業づくり】

◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫

- 話し合い活動の充実
 - ペア学習、トリオ学習等
 - 自分の意見を伝える場、他者の意見を聞ける場の設定
 - 自己有用感の醸成
- 自分の思いや考えを伝え合う場の設定
 - すべての授業等での導入
 - 朝の会・帰りの会等短学活の活用
 - スピーチをする場面の工夫
 - 自己有用感の醸成
- 学習課題の工夫
 - 探究できる課題づくり、話し合いへとつながる課題づくり
 - 自ら考え行動する楽しさを感じる課題づくり

【地域とともにある学校】

◎地域に根ざした教育の充実および地域資源の有効活用
（「未来の長橋」の実践）

- 地域交流の充実
 - 地域資源や人材を活用した体験活動の推進
 - 地域行事等への積極的な参加および地域ボランティア活動の推進
 - 自己有用感の醸成
- 家庭・地域との連携
 - 情報交換の場の設定
 - 丁寧かつ迅速な対応
 - 「長橋スマートルール」の実践と省察
- 情報発信による開かれた学校の確立
 - 個人情報保護に留意した上での学校だよりやHP、緊急メール等による情報発信

【数値目標】

◎学校が楽しい
【児】3人以上

◎みんなで何かをするのは楽しい
【児】3人以上

◎授業がよくわかる
【児】3人以上

◎授業に主体的に取り組んでいる
【児】3人以上

◎地域行事や奉仕活動に積極的に参加する
【児】3人以上

◎自分の住んでいる地区が好き
【児】3人以上

◎学校であったことを家の人に話してくれる
【保】3家庭以上

【業務改善】 ■協働体制の構築 ■一斉退庁デーの徹底 ■勤務時間の自主管理の徹底および仕事の効率化
■効率的な諸会議（35分以内） ■校時表の見直し（登校時刻 8:00に合わせた勤務）
■業務推進日の設定（繁忙期の清掃、業間等カット） ■行事の内容および実施時期の見直し